

環境施策普及アンケート

(環境意識調査)

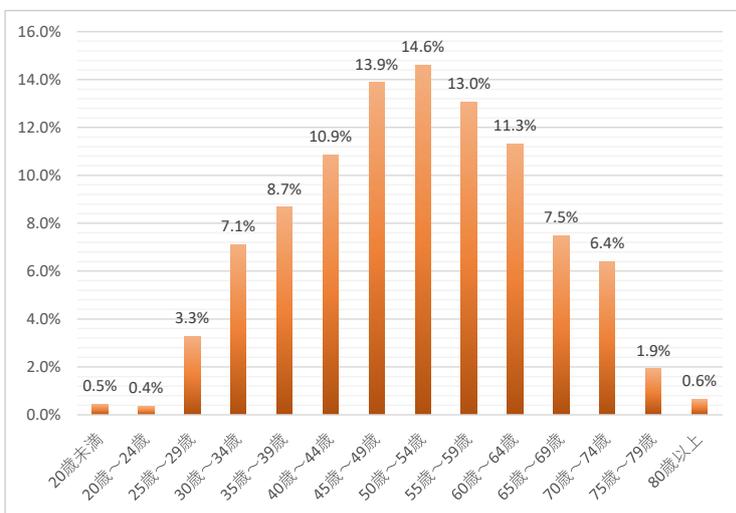
令和3年7月

鎌倉市環境部環境政策課

問1 あなたの年齢を教えてください。

n= 1096

年齢		
20歳未満	5	0.5%
20歳～24歳	4	0.4%
25歳～29歳	36	3.3%
30歳～34歳	78	7.1%
35歳～39歳	95	8.7%
40歳～44歳	119	10.9%
45歳～49歳	152	13.9%
50歳～54歳	160	14.6%
55歳～59歳	143	13.0%
60歳～64歳	124	11.3%
65歳～69歳	82	7.5%
70歳～74歳	70	6.4%
75歳～79歳	21	1.9%
80歳以上	7	0.6%

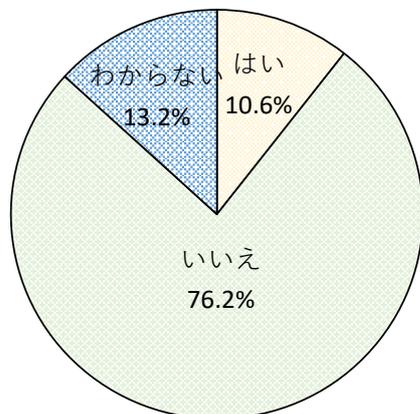


回答者のうち、50歳代が27.6%と一番多く、30歳代から60歳代を中心に幅広い世代からの回答がありました。

問2 あなたの家庭において購入または発電している電気は、再生可能エネルギー電気（全部もしくは一部）ですか？

n= 1096

はい	116	10.6%
いいえ	835	76.2%
わからない	145	13.2%

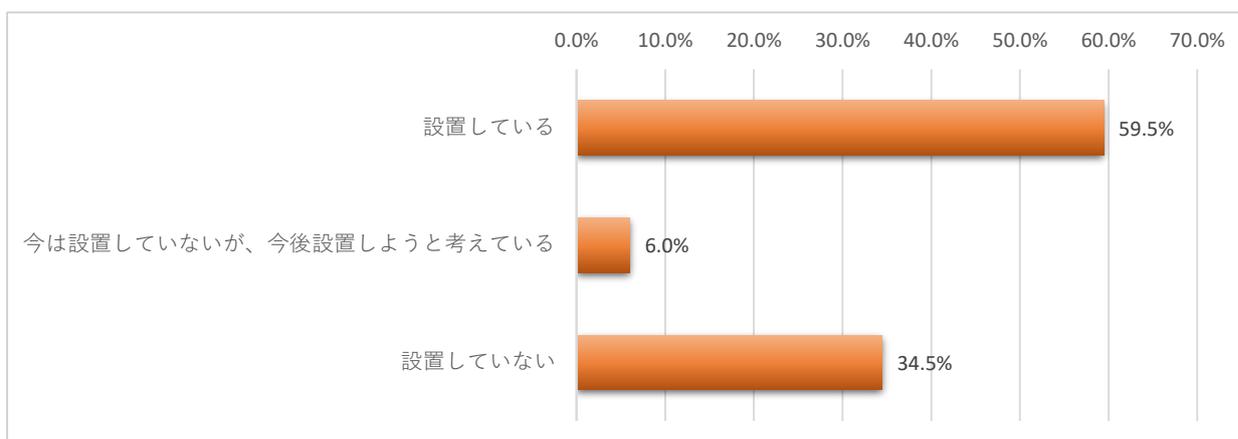


今回のアンケートでは、家庭における再生可能エネルギーの普及率は10.6%との結果ができました。

問3 あなたの家庭では、太陽光発電を設置していますか。
(問2で、「家庭において再生可能エネルギーを購入または発電している」と答えた方のみ)

n= 116

設置している	69	59.5%
今は設置していないが、今後設置しようと考えている	7	6.0%
設置していない	40	34.5%

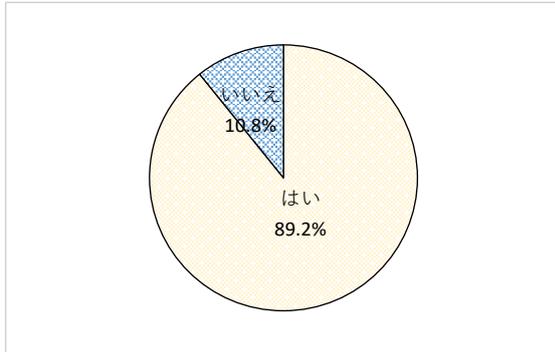


「家庭において再生可能エネルギーを購入または発電している」と答えた方のうち、59.5%が太陽光発電を設置しているとの結果ができました。

問4 環境問題を意識して行動していますか。

n= 1096

はい	978	89.2%
いいえ	118	10.8%

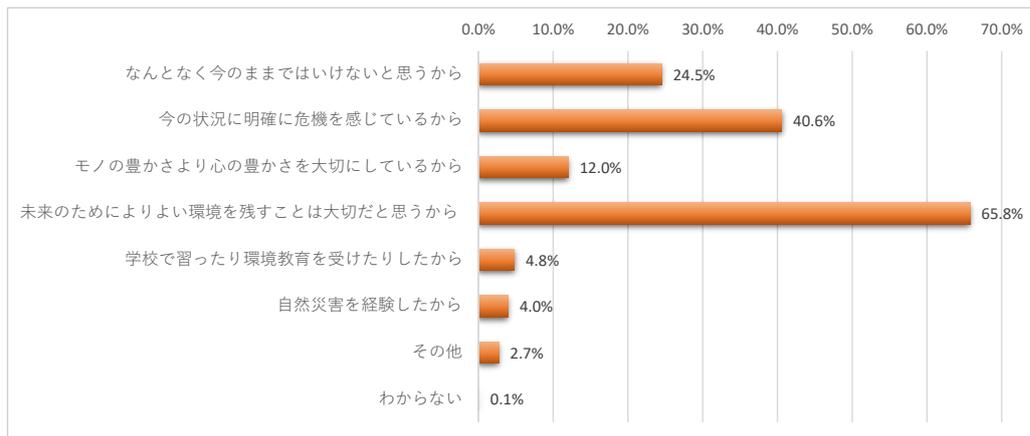


89.2%の方が環境問題を意識して行動しているとの結果がでました。

問5 環境問題を意識して行動をとるようになった理由は何ですか。(2つまで)

n= 1096

なんとなく今のままではいけないと思うから	269	24.5%
今の状況に明確に危機を感じているから	445	40.6%
モノの豊かさより心の豊かさを大切にしているから	132	12.0%
未来のためによりよい環境を残すことは大切だと思うから	721	65.8%
学校で習ったり環境教育を受けたりしたから	53	4.8%
自然災害を経験したから	44	4.0%
その他	30	2.7%
わからない	1	0.1%

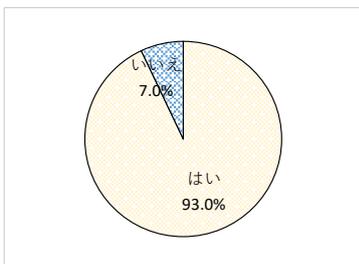


環境問題を意識した行動をとるようになった理由として、「未来のためによりよい環境を残すことは大切だと思うから」と回答の方が65.8%と一番多く、次いで、「今の状況に明確に危機を感じているから」と回答の方が40.6%という結果がでました。

問6 環境問題について考えていますか。

n= 1096

はい	1019	93.0%
いいえ	77	7.0%



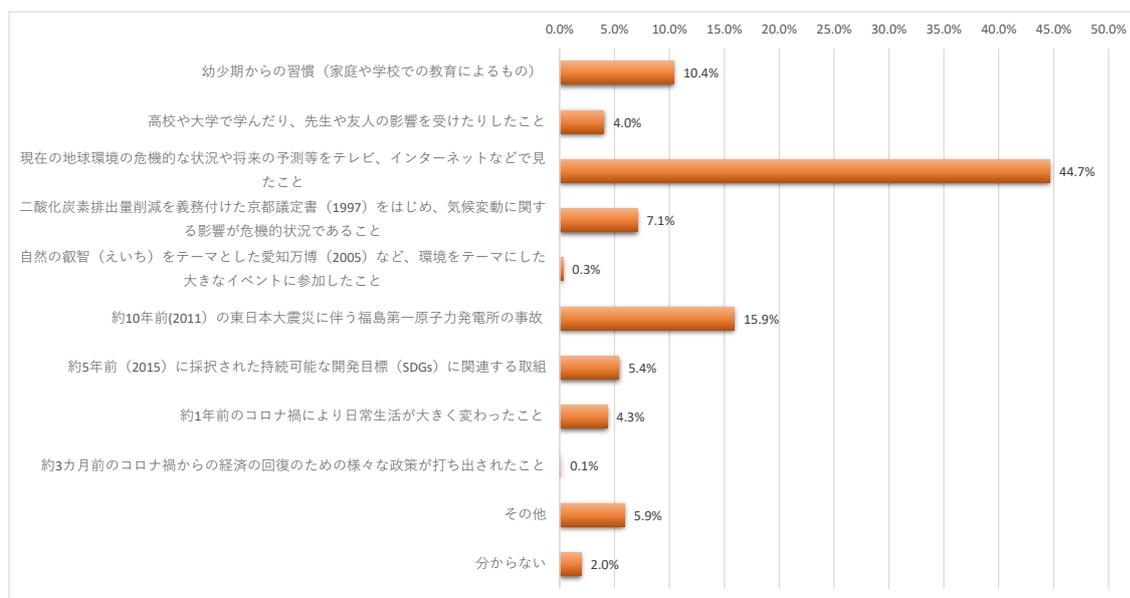
93%の方が環境について考えているという結果がでました。

問7 環境問題を考えるようになった理由として最も影響を受けた出来事は何ですか。

(問6で、「環境について考えている」と答えた方のみ)

n= 1019

幼少期からの習慣（家庭や学校での教育によるもの）	106	10.4%
高校や大学で学んだり、先生や友人の影響を受けたりしたこと	41	4.0%
現在の地球環境の危機的な状況や将来の予測等をテレビ、インターネットなどで見たこと	455	44.7%
二酸化炭素排出量削減を義務付けた京都議定書（1997）をはじめ、気候変動に関する影響が危機的な状況であること	72	7.1%
自然の叡智（えいち）をテーマとした愛知万博（2005）など、環境をテーマにした大きなイベントに参加したこと	3	0.3%
約10年前（2011）の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故	162	15.9%
約5年前（2015）に採択された持続可能な開発目標（SDGs）に関連する取組	55	5.4%
約1年前のコロナ禍により日常生活が大きく変わったこと	44	4.3%
約3カ月前のコロナ禍からの経済の回復のための様々な政策が打ち出されたこと	1	0.1%
その他	60	5.9%
分からない	20	2.0%

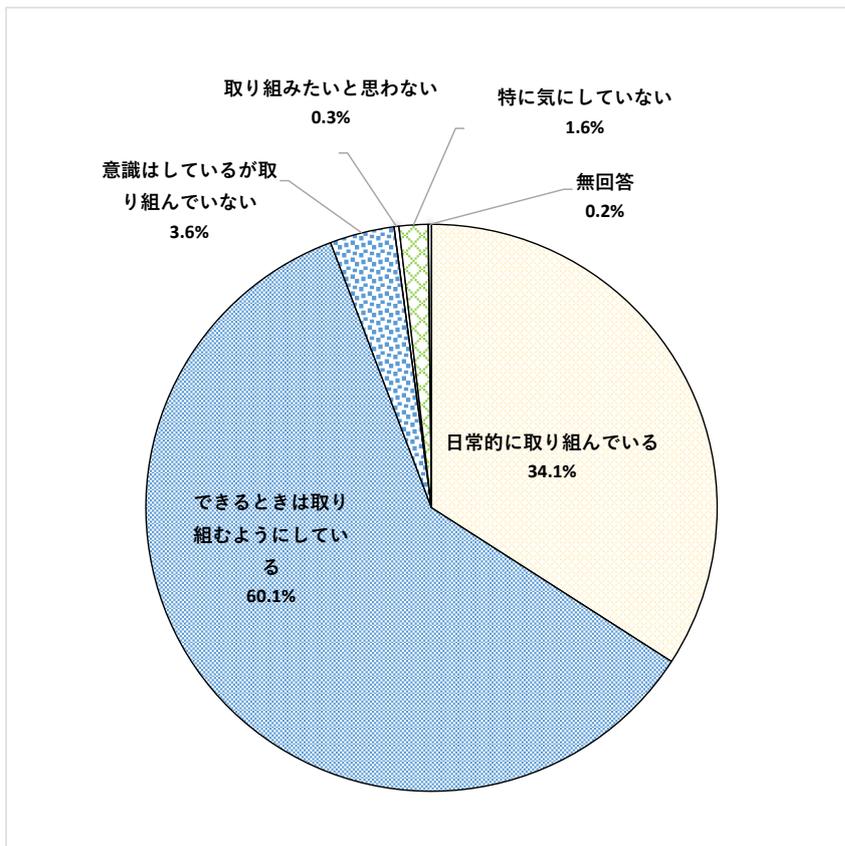


環境問題を考えるきっかけが、「現在の地球環境の危機的な状況や将来の予測等をテレビ、インターネットなどで見たこと」と回答した方が44.7%と一番多く、次いで「約10年前（2011）の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故」と回答した方が15.9%という結果がでました。

問8 クールビズの取組みや節電等の省エネに取り組んでいますか。

n= 1096

日常的に取り組んでいる	374	34.1%
できるときは取り組むようにしている	659	60.1%
意識はしているが取り組んでいない	40	3.6%
取り組みたいと思わない	3	0.3%
特に気にしていない	18	1.6%
無回答	2	0.2%

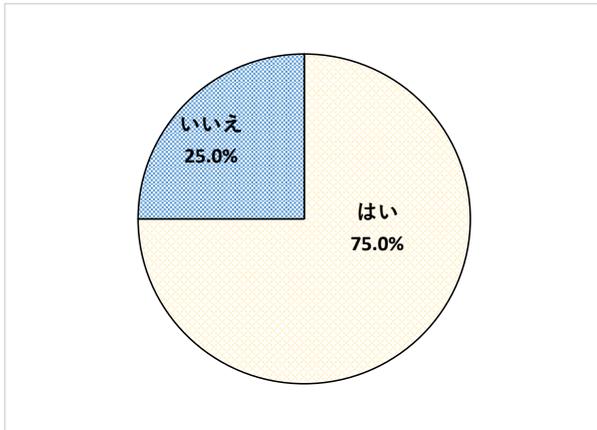


クールビズや節電等の省エネへの取組は、「日常的に取り組んでいる」「できるときは取り組むようにしている」を合わせると94.2%の方が取り組んでいるという結果がでました。

問9 日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言（2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにして脱炭素社会の実現を目指すこと）について知っていますか。

n= 1096

はい	822	75.0%
いいえ	274	25.0%

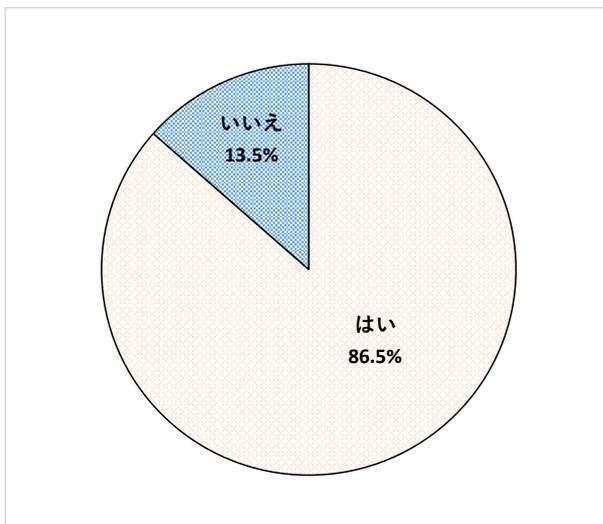


カーボンニュートラル宣言について知っている方の割合は75%という結果がでました。

問10 EVシフトや脱ガソリン車宣言などの自動車メーカーの動き（2030年代半ばにはガソリン車の国内での新車販売をやめるという目標）について知っていますか。

n= 1096

はい	948	86.5%
いいえ	148	13.5%

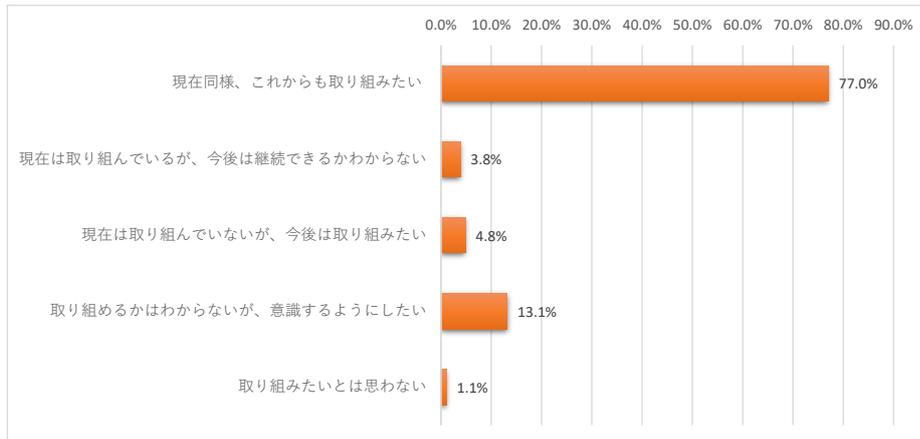


EVシフトや脱ガソリン車宣言などの自動車メーカーの動きについて知っている方の割合は86.5%という結果がでました。

問11 将来の社会を持続可能なものにするために、これからも環境問題を意識した行動に取り組んで行きたいと思いませんか。

n= 1096

現在同様、これからも取り組みたい	844	77.0%
現在は取り組んでいるが、今後は継続できるかわからない	42	3.8%
現在は取り組んでいないが、今後は取り組みたい	53	4.8%
取り組めるかはわからないが、意識するようにしたい	144	13.1%
取り組みたいとは思わない	12	1.1%
無回答	1	0.1%

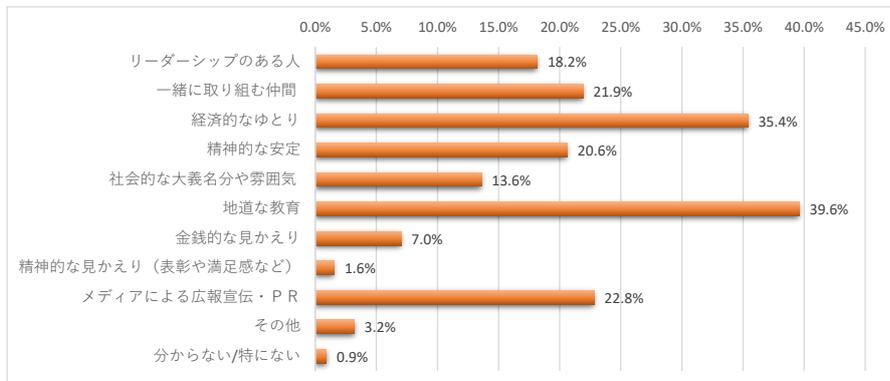


「現在同様、これからも環境問題に取り組みたい」と回答された方は77%、「現在は取り組んでいないが、今後は取り組みたい」あるいは、「取り組めるかはわからないが、意識するようにしたい」と回答された方を合わせると約95%という結果ができました。

問12 あなたにとって、実際に環境問題を意識した行動へつなげるためには何が必要だと思いますか。（2つまで）

n= 1096

リーダーシップのある人	199	18.2%
一緒に取り組む仲間	240	21.9%
経済的なゆとり	388	35.4%
精神的な安定	226	20.6%
社会的な大義名分や雰囲気	149	13.6%
地道な教育	434	39.6%
金銭的な見かえり	77	7.0%
精神的な見かえり（表彰や満足感など）	17	1.6%
メディアによる広報宣伝・PR	250	22.8%
その他	35	3.2%
分からない/特になし	10	0.9%



環境問題を意識した行動につなげるために必要なことについて、「地道な教育」と回答された方が39.6%と一番多く、次いで、「経済的なゆとり」と回答された方が35.4%、「メディアによる広報宣伝・PR」や「一緒に取り組む仲間」「精神的な安定」と回答する方がそれぞれ約20%という結果ができました。